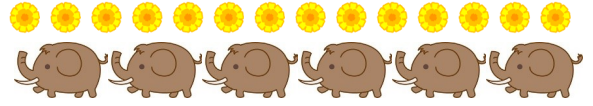


# ～栄光の架け橋～ (全十勝中学校体育秋季卓球大会団体戦&十勝子ども大会表彰)

## 団体戦～ステージ2進出!



10月28日(土)に全十勝中学校秋季卓球大会団体戦がよつ葉アリーナ十勝で開催されました。

本校より8名の選手がエントリーされ、大会参加に臨みました。ステージ1として、4チームによるリーグ戦総当たり戦を行い、上位2チームが第2ステージに進出できます。本校は、予選リーグで、帯四中・帯五中・大空学園とあたり、帯五中に4対1で勝利。その後、帯四中には2対3で惜敗しました。しかしながら、大空学園が棄権となり、結果、リーグ2位となり、第2ステージに進出することができました。(ベスト12)

決勝トーナメントでは、第1回戦で緑園中学校と対戦し、0対3で惜敗しましたが、内容的には悪くはありませんでした。今回、第2ステージに進出できたことは部員にとっても大きな自信となりました。今大会の経験を生かし、更に、活躍することを期待しています。次の大会が今から楽しみです。

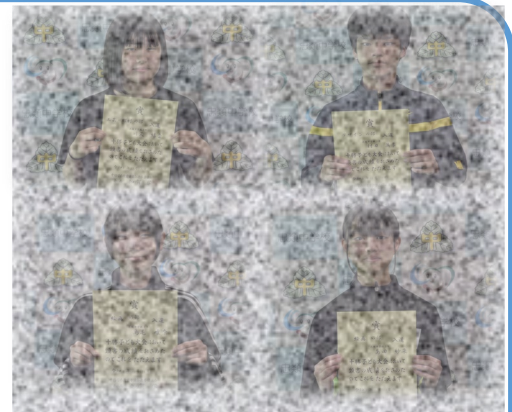


## 十勝子ども大会～美術作品の部 入賞

毎年、11月の初旬に開催されております「中文連十勝子ども大会」。本年度は、11月11日(土)～12日(日)に開催されました。

18町村から、小・中学生の書写や美術作品、理科や社会の自由研究資料や家庭科や技術作品等、多くの作品が出展されています。その作品の中から、管内の専門家の先生方が審査を行い、賞を付けています。結果的に、この賞が各町村の「文化奨励賞」につながるなど、大変、意味ある活動となっています。

本校も、美術作品を出品し、1年生の島田さんが「絵画」、2年生の鳥毛さんが「自画像」、3年生の村田さんが「デザイン」、3年生の川又さんが「木彫小箱」でそれぞれ入賞しました。普段、部活動等で子どもたちの活躍は、年間を通じて嬉しい便りが届いておりますが、文化活動で活躍する子どもたちが認められる機会をいただけたことを嬉しく思います。



## 12月行事予定

- 1日(金) 3年学力テスト
- 2日(土) 全十勝中学校スピードスケート選手権大会(～3日)
- 4日(月) 3年総合的な学習&3年参観日  
「地域活性化案」発表
- 5日(火) 1・2年参観日
- 6日(水) 職員会議
- 8日(金) ちゅうるい学園実践交流会
- 10日(日) 町P連管内視察研修&研究会

- 13日(水) 校内研修⑨
  - 18日(月) 生徒会常任委員会
  - 19日(火) 3年期末テスト
  - 20日(水) 小中合同研修会
  - 22日(金) 2学期終業式
  - 23日(土) 冬季休業日(～1月14日まで)
  - 24日(日) 全十勝中学校体育大会  
冬季スケート大会
  - 29日(金) 学校閉庁日(～3日まで)
- ※3学期登校日は1月15日となります。

# しばざくら

【教育目標】 「心豊かに たくましく 生きぬく生徒」

○自ら創造する生徒

○思いやりのある生徒



3年生 庄野さんの作品  
ハロウィンで様々な作品を作りました。

教育を核とした地域づくりを目指して

校長 白井 将之



ナウマン象アートづくり～当時の地層から拾った石を使って！

11月に入り、肌から感じる空気も冷たさを感じます。日中との寒暖差が大きくなる時期です。皆様方には、体調にはくれぐれもご留意いただければ幸いです。

さて、過日、社会福祉協議会が主催する「ちゅうるい つながりLabo2！」がふれあいセンター福寿で開催されました。「忠類地区のこれから」に視点をあて、少子高齢化の時代において、今後、地域づくりや活性化について、様々な意見交流が行われました。何も無い時代から、高度成長期を生き抜いてこられた諸先輩方がこれからの時代を担っていく世代に何を伝えていくか。何をつないでいくか。このことは、小規模自治体や過疎地区の多くで抱える課題であり、持続可能な地域づくりにおいては、重要な鍵を握る視点と考えます。

そのような背景の中で、何よりも大切なことは、地域住民相互が「つながる」ことではないでしょうか。地域活性化や高齢者福祉の問題等だけではなく、学校教育も、地域の教育資源や人材を生かした「地域とつながりのある教育」が現在、求められています。学校で抱える課題はいずれ地域の課題となり、地域で抱える課題も将来、子どもたちが抱える課題となります。相互の課題を共有し、生涯学習といった広い見地から、教育を核とした、「人と人」・「人と文化」・「学校と地域」・「団体と団体」等の「つながりづくり」が今後の地域づくり・課題解決の肝になると考えます。

そのためには、学校教育と合わせて、「社会教育」の充実が必要となってきます。地域の様々な要望や学校教育だけでは補えない多様な学びの場を具現化する「受け皿」が必要であり、同時に、「地域と学校」・「住民相互」等をつなぐ、コーディネーターの存在も必要になってくるでしょう。それと合わせて、子どもや地域住民等が同じ場所でくつろげる共有空間も必要と考えます。その一つのアイデアとして、学校を公共施設として効果的に使うことも考えられます。毎月19日は「教育の日」として地域参観日となっており、どなたも学校に足をお運びいただけます。学校が地域住民にとって、垣根の低い存在となり、将来的には、空き教室や特別教室等が地域住民にとって、気軽に立ち寄り、社会教育活動等の場として利用できる、居心地の良い空間になれば素敵だと思います。

# ナウマン象～モザイクアート作成！思いを込めて～



11月7日（火）に10月に発掘体験をしたナウマン象のいた地層から拾った石を利用して、昨年度から取り組んでいる「ナウマン象からモザイクアート」の作成に取り組みました。

添田学芸員のアイデアで始まったこの取り組みは数年かけて、中学生が現地で拾った石で象を復元していきます。忠類の子どもたちが自分たちの故郷を誇りに思う気持ちをいつまでももっていてほしいと願っています。

卒業後も、自分たちが中学生だったときに取り組んだアートが博物館に飾られていることは嬉しいもので



す。一つ一つの石に自分の名前を明記し、記念としています。この取り組みを通じて、故郷への関心やナウマン象に興味を子どもたちが寄せてもらえれば嬉しく思います。貴重な体験の機会をいただいている添田さんに感謝いたします。いつも、有難うございます。

## 1年「林業体験学習」～音調津の山の沖へ！！

10月18日（水）にサンエイ緑化さんにご尽力をいただき、本校1年生が「林業体験学習」を行いました。ちゅうるいの魅力や課題を知る探究活動の一つとして、本年で3年目をむかえる学習です。

単に、ちゅうるいの学びだけではなく、子どもたちにとっては、SDGsやスマート林業、環境教育等にもつながる、大変意味のある時間となっています。実際に、当日を迎えるに当たり、邊見社長さんは、バスが林道に入れるように道の整備をしていただいたり、休日の下見にご同行いただくなど、子どもの安全面の確保や学習の環境づくりにお力添えをいただきました。地域の子どもたちへの深い愛情と林業の魅力や良さを学ぶことを通じて、様々な気づきや発見、ふるさとへの愛着や誇り等、様々なことを感じてほしいとの強い思いが伝わってきました。

私たちが生活をする上で、「木」はかけがえのない存在であり、その木を得るためには、山や木を守る仕事があること。同時に、働き手不足や安全面等の配慮に伴い、林業も機械化が進み、最新の技術が導入されていることなど、子どもたちにとって、本当に学びの切り口が沢山ありました。この体験前の子どもたちへの課題意識や目的を持たせること、事後の学習での振り返りなど、単に体験をして終わりではなく、何に気づき・何を感じたか等の整理を学校として行うことが、今後、極めて重要であるとを、改めて実感したところです。お力添えをいただきましたサンエイ緑化様に感謝を申し上げます。有難うございました。

## 4年ぶり！教職員と保護者の懇親会



10月26日（木）に忠類中学校PTA懇親会が実に4年ぶりに開催されました。コロナ以前は、スポーツレク&懇親会という流れで行っていましたが、時間のスリム化等、役員会で協議を重ね、今年は、懇親会のみで実施しようという運びになりました。

当日は、教職員10名（約70%）・保護者10名の参加をいただきました。固い話は抜きにして、昔話や趣味のことなど、楽しい話題で盛り上がりました。今回、ご都合がつかなかった保護者の皆様も、次回は、是非、先生方と膝を交えて、懇親を深めていただければ幸いです。

同様、11月10日（金）にも、幕別町教育懇談会が開催され、町内14校のPTA役員の皆様にお集まりいただき、森 徹 調査部長（町P）の調査発表の後、札内コミプラで懇親を深めました。お疲れ様でした。



# 令和5年度全国学力学習状況調査結果について

本年度も、中学3年生を対象に実施しております全国学力学習状況調査の結果が出ました。毎年、本校の各種教育活動の検証改善にいかす資料の一つとして活用させていただいています。

2005年の「新しい時代の義務教育を創造する(答申)」を踏まえ、「教育の結果及び検証を国の責任の基で行い、義務教育の質を保証する動きの一つ」として、2007年より全国で学力学習状況調査が実施されております。

各学校においては、各年度により子どもの状況や様子に違いはあるものの、単なる教科の結果としてだけでなく、学校全体の課題や成果、更には、各家庭での学習活動及び生活習慣等の振り返り・改善を図る資料として、地域・保護者の皆様と共有をさせていただきます。なお、学習状況調査は全学年で実施した結果を掲載しております。

## 【教科に関する調査結果(国語・数学・英語)】

全体的な傾向	全教科とも全道平均を下回り、知識・技能等の定着に課題が見られました。(日々の学習の積み重ね)
--------	--

## 【理解している・身につけている内容】

教科	各教科で身につけていること
国語	○知りたい情報を効果的に質問し、情報を的確に収集することができること ○集めた情報を目的に沿って、自分の考えをまとめることができること
数学	○数と数式の計算ができ、計算結果を求めることができること
学習状況等	○自分の考えや意見を交流し深める主体的学習活動ができていると実感していること ○自分には良いところがあり、周囲から認められていると実感できていること ○計画的に家庭学習に取り組んでいること

## 【課題のある内容】

教科	各教科で身につけたいこと
国語	○文脈に即して正しく漢字を書くこと ○文章の構成や展開、表現効果を考え、見出しや文を書くこと
数学	○「累積度数」・「反比例」の意味を理解していること ○問題解決の過程や結果を振り返って考え、説明することができること
英語	○答える内容は思い浮かぶものの、その内容を表現することができること
学習状況等	○個に応じた学習支援及びICT(タブレット)を効果的に活用した学習活動及び授業を実践すること ○家庭学習に取り組む内容の「質」・「量」を高めること

## 【改善に向けての手立て・方向性について】

- ①本校の目指すべき学力である「見通す力」「コミュニケーション力」「論理的思考力」を単元指導計画に位置づけた実践
- ②総合的な学習を柱とした地域の教育資源・人材を活用した「探究的な学び」及び「教科横断的な学習活動」の推進
- ③子どもの「思考力・判断力・表現力」を高め、「知識・技能」の習得を目指す授業実践(チョーク&トークからの脱却)

## 後期生徒会役員～決定！！

10月20日(金)に前・後期の生徒総会と後期生徒会及び学級役員認証式が行われました。後期生徒会活動がスタートしました。

生徒会長:佐藤 寛徳さん 副会長:木谷 花音さん

書記:大坂咲太郎さん 会計:島田 紗采さん

後期スローガンを『絆』のもと、生徒会書記局の活動方針「全校生徒が色々なことにチャレンジできるようにする」が示されました。異学年交流を含め、32名の生徒がつながりを深め、充実した学校生活を目指します



後期生徒会長:佐藤 寛徳さん